



小林果園グループ SDGs宣言

当グループは、(株)小林果園「愛媛の一級産地からおいしいみかんを届ける」
農ぶらす愛媛(株)「愛媛の農業に新たな価値をぶらすして地域・生産者と消費者を繋ぐ」を
経営理念に掲げ、事業活動を通じて「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献し、
地域課題の解決および、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2022年9月3日

農業生産法人 株式会社小林果園
代表取締役 小林 聖知
農ぶらす愛媛株式会社
代表取締役 山地 誠



重点項目(ターゲット2030)

オンリーワンの柑橘の提供

有機肥料で育成した安心・安全な柑橘を生産し、徹底した品質管理により、愛媛で一番思いの詰まった、そして日本最高峰の「媛一みかん」を提供します。

【主な取り組み】

有機肥料の使用した農産、加工品製造のマニュアル整備、自社ECサイトによる加工品販売、地元柑橘や県産柑橘の販売(地産外商)、Facebook・HPを用いて西宇和の魅力を情報発信



地域内の高齢者対応

高齢化が進む地域内において重要であるにも関わらず、他社撤退が懸念される高齢者向け宅配弁当事業を継続してきます。

【主な取り組み】

自社加工による雇用創出、宅配弁当事業による高齢者生活の支援



環境負荷軽減の取組み

農業は天候や土壌によって品質や収穫量が左右しやすいことから、環境への配慮を忘れることなく、フードロス削減と豊かな土壌を守る取組みを実施していきます。

【主な取り組み】

みかん皮の加工品再利用、自社作業所の屋根に太陽光パネルを設置、再生紙で作られた包装材の使用、フードロス削減のための過剰在庫見直し、土壌に合わせたオリジナル有機肥料の使用



働き続けたい職場づくり

従業員一人ひとりの個性を認め合い、年齢や国籍にこだわらず幅広い人材が働ける、そして社宅の整備や家賃補助など住環境にも配慮することで、いつまでも働き続けたい職場づくりに努めます。

【主な取り組み】

社宅完備、家賃補助、個別懇親会、社内会議などによる意見交換、妊娠中女性への配慮、「健康づくり推進宣言」の策定、ハラスメント相談窓口の設置、外国人労働者の雇用



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」とは

- ・ 貧困、気候変動、人種・性差別、働き方などのさまざまな問題が顕在化する中、持続可能な社会をつくるために国連が定めた国際目標です。2030年までに解決すべき優先課題として、17の目標と169のターゲットが示されています。
- ・ 目標を達成するために、国連や政府だけでなく、企業やNPO、個人等が幅広く担い手として活躍するよう期待されています。
- ・ 企業がSDGsに取り組むことで、「気候変動をはじめ経営環境が変化していく中でも持続可能な組織である」と示すことにつながります。